

自転車通勤に関する事業所へのアンケート結果からみた促進策の提案

公財)豊田都市交通研究所 國定精豪 樋口恵一 山崎基浩

アンケート実施の概要

▼背景：当研究所では、エコ通勤に関わる自主的な取り組みとして、自宅や事業所から鉄道駅などを結ぶ末端交通での自転車利用の拡大・促進を図るための実証実験（愛知県の補助事業で実施した平成21年度「コンビデケッタ」、平成22年度「駅から自転車」← 昨年度、jcomm で口頭発表）を行い、継続的に実施している事業所をサポート中である。

・さらなる自転車通勤の促進のために、自転車利用の魅力や課題などの明確にする必要性

▼位置づけ：「エコ通勤」という枠組みの中での自転車利用（通勤）の促進

<課題提起>

- ・自転車利用状況
 - ・事業所の制度上、自転車通勤を行うことが難しい可能性
- （自転車利用上の規則や手当の支給条件など）

▼対象と実施時期：豊田市内の事業所と <表1 アンケート調査概要>

従業員が対象。

実施時期は2012年
1月末から2月上

<表1>

調査日時	2012年1月23日(月)～2月8日(水)
対象事業所	「豊田市エコ通勤をすすめる会」会員事業所のうち9事業所
従業員調査票配布数	768票 (従業員数が100名を超える事業所には、100票を上限に依頼)
従業員調査票回収数	601票

▼概要：事例¹⁾や既往研究²⁾（自転車通勤に影響が大きいと考えられる下記3点など）をもとにアンケート作成。

『費用面』・『設備面』・『雨天時』に関わる8つの促進策について調査した。

- ・「自転車通勤手当優遇に併せて自家用車通勤手当を減額」=アメとムチ」名古屋市などの事例
- ・「ロッカーやシャワー室などの整備」シマノなどの事例
- ・「天候が自転車通勤の阻害要因であると考えられる」当研究所の実証実験の結果など

▼成果：自転車通勤の現状、自転車利用を促進するための方策や課題を明らかにする

通勤手段の現状

▼通勤に利用している主な交通手段の割合（図1）

- ・自家用車が全体の82%
（*自家用車の利用割合は、中京都市圏^{ハートツリップ}調査と同等の結果）
- ・次に自転車が全体の9%

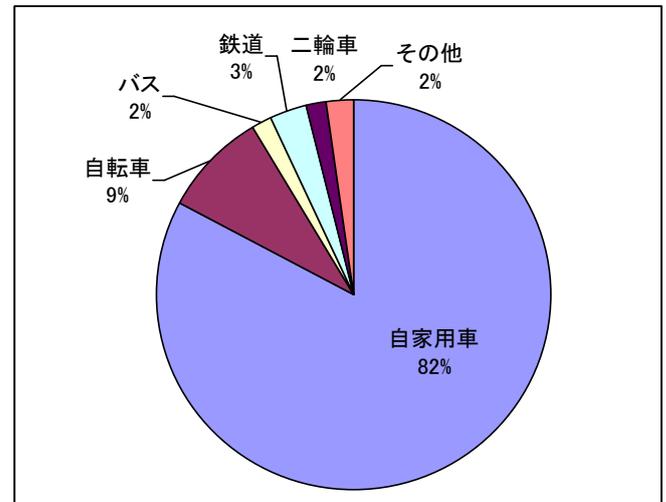


図1 通勤に利用している交通手段の割合

▼自宅から事業所までの通勤距離帯別の通勤手段の集計結果（図2）

- ・全ての距離帯で自家用車の利用割合が高くなっている。
- ・本研究で着眼している自転車の利用割合は、5km未満での利用が最も多い
- ・遠距離ではパーク&サイクルライド(鉄道駅までのアクセス)のための自転車利用が行われている
- ・回答があった従業員調査のうち、48名の方が通勤に自転車を用いる
- ・利用に男女の差はない
- ・通勤距離が10km未満の34名の方は、20歳代～60歳代までの幅広い年齢層だが、60歳代の方が40%を占めていた
- ・一方、通勤距離が10km以上の14名は、43%の方がフレックスタイムであり、20歳～30歳代の方が78%を占めていた

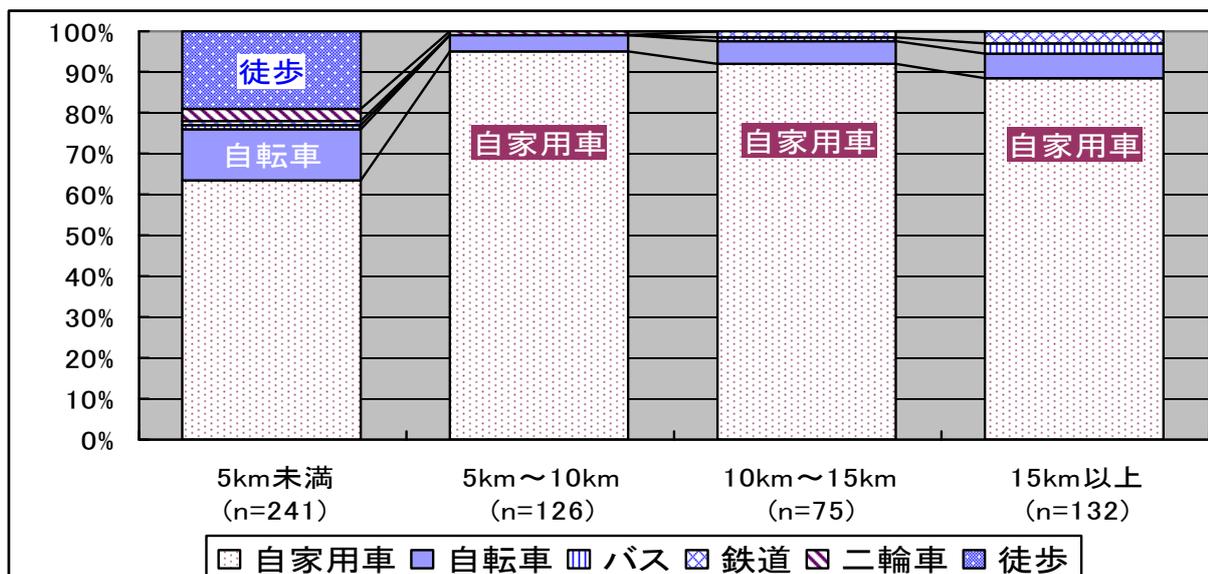
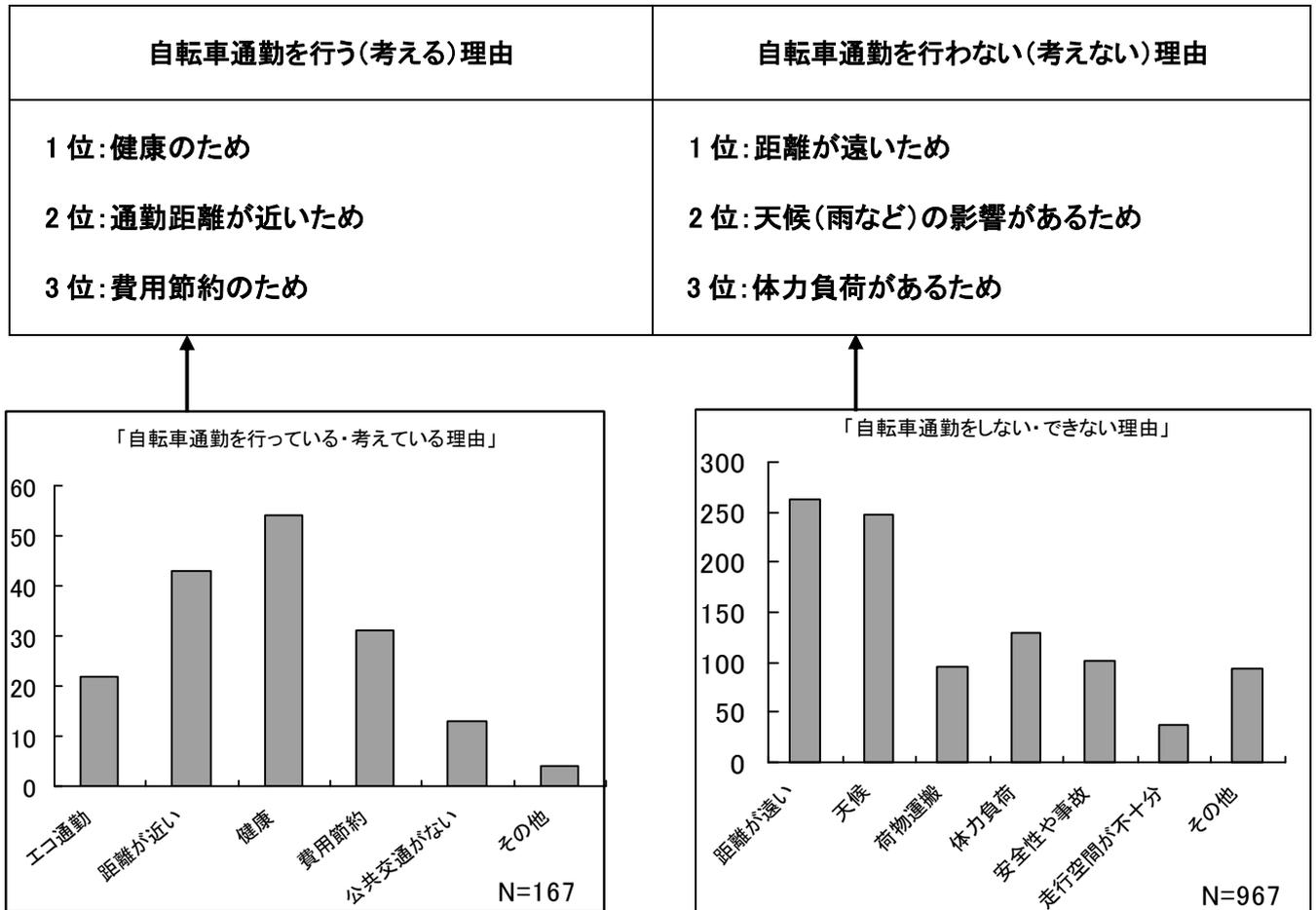


図2 通勤距離帯別の通勤手段

自転車通勤の要因

▼要因1：自転車通勤を行う（考える）理由と自転車通勤を行わない（考えない）理由



▼要因2：その他の要因

- ①通勤距離が近い 30 歳代もしくは 50 歳代以上の方が自転車通勤を行う傾向にある
 (自転車通勤をしないのは、距離は当然ながら遠距離による負担大であること、40 歳代は業務多忙な年代で、残業や帰宅時間が夜間となり、利便性の高い自家用車を好むことなどが理由と推察する)
- ②「豊田市全体での渋滞」より「勤務地周辺の渋滞」を深刻と感じている方が自転車通勤を行う傾向にある
 (自転車通勤者は、渋滞による通勤時間のロスを回避するために自転車通勤を行うと考えられる)

従業員の意識から考えられる自転車通勤を促進するための方策

▼アンケート結果（図3）より、以下のとおりとした

・アンケート結果とそこから見える有効な方策

①費用面では、通勤手当などの支給を要望する回答が比較的多い

→ 方策1:通勤手当の新設・充実、その他自転車の貸与、自転車保険の補助など

②設備面では、レンタル自転車を要望する回答が比較的多い

→ 方策2:公共交通利用者などの駅から事業所までに使える自転車の貸与など

③その他、雨天時の代替手段を要望する人も比較的多い

→ 方策2:雨天時の自転車以外での通勤をサポートする

（雨天時の特別駐車場、雨天時の着替え場所の確保、レインーバスなど）

※既往研究にあった費用面で方策（「アメとムチ」）の他に、自転車利用の障害となる天候（特に雨）に対するサポートをすることも自転車通勤を促進させる対策として有効な手段であると考えられる。

※但し、アンケートの回答は「自転車通勤を考えない」方がどの項目も過半数（6割弱から8割強）となっており、いかなる方策を実施したにしても、自動車（マイカー）通勤の多くを転換させることは容易ではなく、自転車への転換意思のある人などを出来る限り転換させることが重要と考えられる。

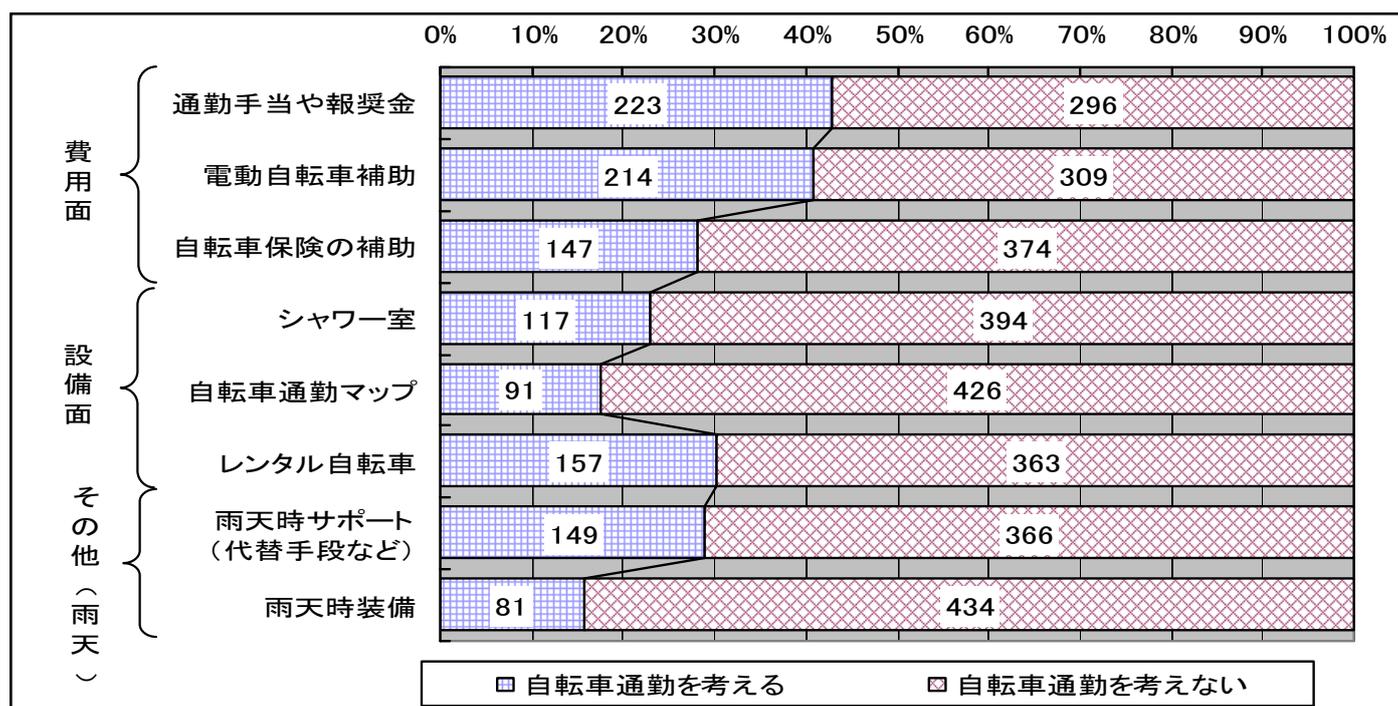


図3 促進策別の「自転車通勤への意識（自転車通勤を考えるか考えないか？）」

事業所の意識

▼駐車場の確保や維持管理費、周辺地域の渋滞については多くの事業所が課題と感じている(図4)

(エコ通勤の推進が企業活動の効率性や地域社会への貢献に大きく寄与できると考えられる。)

▼促進策については、6事業所が自転車駐輪場の確保を課題(図4)としており、自転車通勤を促進する場合は『設備面』の充実が必要

▼「今回の従業員調査の結果を踏まえて検討する」という回答を含めると「自転車通勤手当の新設・拡充」の受容性が一番高い。(8事業所が実施・検討)。この様に事業所側も手当てに対して柔軟な意向を示していることから、自転車通勤の促進が図りやすい環境でもある。(図4)

事業所	A	B	C	D	E	F	G	H	I
従業員数	38	807	420	404	1,054	300	30	10,000	705
業種	サービス	サービス	運輸	製造	サービス	製造	建設	製造	卸売
従業員調査票 回収数	31	0	82	73	78	198	12	94	33
駐車場の確保	将来の課題	課題	課題	将来の課題	課題	将来の課題	問題ない	課題	深刻な課題
駐車場の維持管理	課題	問題ない	将来の課題	将来の課題	課題	将来の課題	問題ない	課題	将来の課題
駐輪場確保	問題ない	課題	課題	問題ない	課題	将来の課題	問題ない	将来の課題	課題
周辺渋滞	問題ない	将来の課題	課題	課題	課題	将来の課題	将来の課題	課題	問題ない
自転車通勤の位置づけ	エコ通勤の1つ	エコ通勤の1つ	エコ通勤の1つ	エコ通勤の1つ	エコ通勤の1つ	推奨していない	エコ通勤の1つ	推奨していない	積極的に推奨
自転車の通勤費の支給	△	○	○	○	○	×	○	×	×
凡例	○:支給する △:車からの転換者に支給 ×:支給しない								
自転車通勤手当の新設・拡充	◎	△	△	△	—	△	◎	△	△
凡例	◎:取り組んでいる ○:検討中 △:従業員調査結果を踏まえて検討 ×:検討しない								

図4 事業所の意識と実態

有効な促進策(まとめ)

▼従業員と事業所の双方で賛同意見が多い自転車通勤促進策は「通勤手当の新設・拡充や報奨金の支給」であった。

▼しかし、6つの事業所では既に自転車通勤者へ手当が支給されているが、これらの事業所に勤めている従業員の77%が「自転車通勤者に手当が支給されない」「分からない」と回答している。

→ 自転車にも通勤手当が支給されるという通勤手当の支給条件を周知することにより、自転車通勤へ転換する可能性があると考えられる。

(新設・拡充の他にも、従業員の「自転車＝手当が出ない」という固定概念を是正できるよう、通勤実態の把握や通勤手当の支給条件を周知させるといった細やかな通勤管理が重要となる。)

▼短距離(5km以下)通勤は、自転車に対し通勤手当の支給を多くすべきという従業員の回答(図5)である。

(これは、「アメとムチ」の方策を従業員が許容している可能性が高いと判断できる。)

※自転車通勤者への通勤手当の支給の資金確保に向けて参考となる回答(意識)と考えられる。

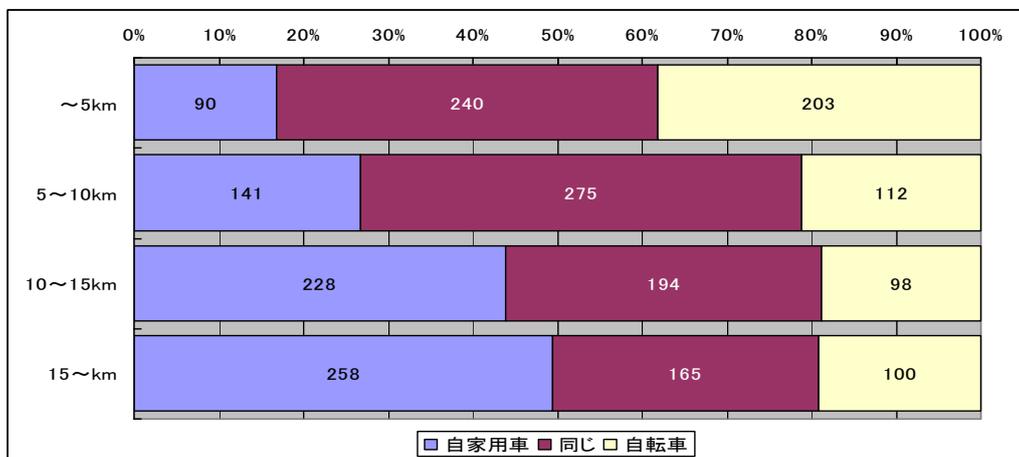


図5 「自家用車」と「自転車」距離帯別にどちらに多く通勤手当を支払うべきか

今後の展開

現在は、調査にご協力いただいた事業所に対して調査結果をフィードバックし、通勤手当の改正などの促進策の実施に動き出す事業所のサポートを行っている。

今年度はまずある事業所(1事業所)を対象に今回の結果を踏まえて、有効な方策と思われる促進策の実施を促し、新しい方策を実施いただくとともに、実施策と効果についての評価を予定している。

また自転車利用促進のために必要と考えられる「自転車の安全運転」に関する研究も進めており、エコ通勤の実践である自転車通勤の促進、さらには安全・快適に利用できる自転車の環境づくりに繋がる情報の発信をしていきたいと考えている。

参考文献

- 1) 国土交通省：エコ通勤ポータルサイト，<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/ecommuters>
- 2) 松村暢彦：マイカー通勤削減を目的とした通勤手当に対する通勤者の意識と行動に関する研究，第37回日本都市計画学会学術研究論文集，pp.259-264，2002